

令和7年度 土木工事標準歩掛の改定概要

国土交通省 大臣官房
参事官(イノベーション)グループ

- 土木工事標準歩掛は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における単位施工量当たり、若しくは日当たりの労務、材料、機械等の規格や所要量について工種ごとにとりまとめたものです。
- 「施工合理化調査等の実態調査」の結果を踏まえ、新規工種の制定及び既存制定工種の改定を行いました。  **令和7年度は、計14工種の改定を実施**

（１）新規制定 【3工種】

①排水材設置工（水平排水層）、



排水材設置工

②中層混合処理工（ICT）、



中層混合処理工（ICT）

③切削オーバーレイ工（ICT）



切削オーバーレイ工（ICT）

（２）使用機械、労務等の変動により改定を行う工種 【6工種】

①スラリー攪拌工、②全回転オールケーシング工、③残存型砕工、
④締切排水工、⑤雪寒仮囲い工、⑥大型土のう工

（３）移動時間を踏まえた制定を行う工種 【4工種】

①構造物補修工（断面修復工）、②切削オーバーレイ工、③油圧圧入引抜工、④床版補強工

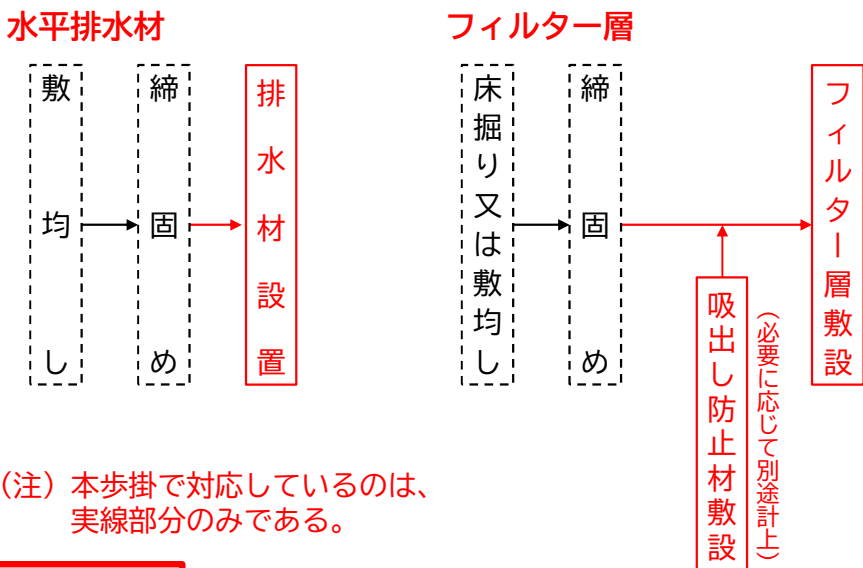
（４）建設機械の回送時間を考慮した改定【1工種】

①鋼橋架設工

盛土（路体盛土等）内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材（帯状シート・全透水型（立体網状体等））、フィルター材（砕石等）を敷設する工法

【施工フロー】

【主な制定概要】



(注) 本歩掛で対応しているのは、
実線部分のみである。

赤字：制定箇所

- 水平排水材は幅100mm以上600mm以下、厚50mm以下の帯状シート及び全透水型の歩掛を新規制定
- フィルター層は厚300mm以上500mm以下の水平排水層及び基盤排水層の歩掛を新規制定

3-1 水平排水材設置歩掛

製品幅(mm)及び厚(mm)		単位	幅 100以上600以下 厚 50以下
名称			
土木一般世話役	人		0.04
普通作業員	//		0.13
排水材	m		10.2
諸雑費率	%		0.3

3-2 フィルター層敷設歩掛

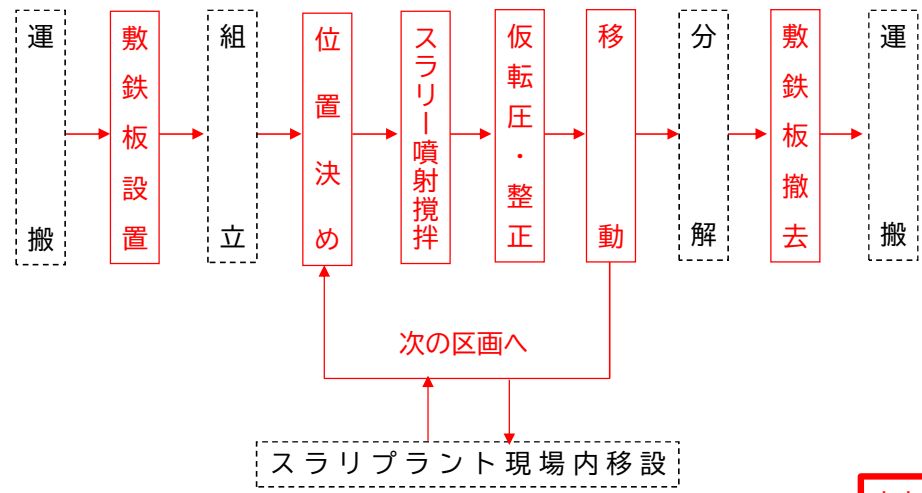
厚(mm)		単位	厚 300以上500以下
名称			
土木一般世話役	人		0.11
特殊作業員	//		0.06
普通作業員	//		0.31
バックホウ(クローラ型)運転	h		2.2
フィルター材	m3		13
諸雑費率	%		0.3



水平排水材シート設置状況

粘性土，砂質土，シルト及び有機質土等の軟弱地盤を安定した状態にするための軟弱地盤処理工のうち、中層混合処理機（ICT）によるスラリー噴射方式の機械攪拌混合にて、改良深度が概ね2mを超え13m以下の陸上施工する工法

【施工フロー】



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

赤字：制定箇所



ICT中層混合処理機工による攪拌混合

ICTシステム機器

【主な制定概要】

- 中層混合処理工において、ICT機器を導入し運転席モニターで施工位置や出来形を確認しながら施工するICT施工の歩掛を新規制定

3. 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3. 1 機種の選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量			
			改良深度(L) 2m<L≤5m	改良深度(L) 5m<L≤8m	改良深度(L) 8m<L≤10m	改良深度(L) 10m<L≤13m
中層混合処理機 (トレンチャ式) (ICT)	[ベースマシン] 20t(山積0.8m³)級バックホウ [攪拌混合装置] 改良深度(標準)5m [施工管理装置] 1ピースブーム用	台	1	-	-	-
	[ベースマシン] 30t(山積1.4m³)級バックホウ [攪拌混合装置] 改良深度(標準)8m [施工管理装置] 1ピースブーム用	"	-	1	-	-
	[ベースマシン] 40t(山積1.9m³)級バックホウ [攪拌混合装置] 改良深度(標準)10m [施工管理装置] 1ピースブーム用	"	-	-	1	-
	[ベースマシン] 40t(山積1.9m³)級バックホウ (2ピースブーム) [攪拌混合装置] 改良深度(標準)13m [施工管理装置] 2ピースブーム用	"	-	-	-	1
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント(全自動) 能力20m³/h	"	1			

4. 編 成 人 員

中層混合処理工（ICT）の日当たり編成人員は、次表を標準とする。

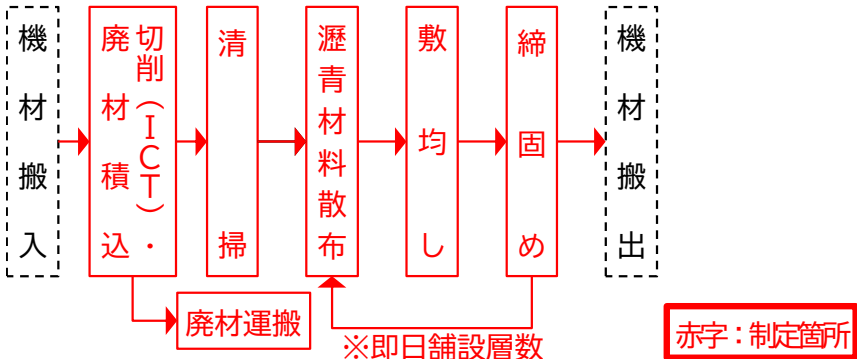
表4. 1 編成人員 (人/日)

土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
1	1	2

（注）編成人員には、スラリープラントの管理運転労務を含む。

ICT建設機械の路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から舗装までを即日で急速施工する工法

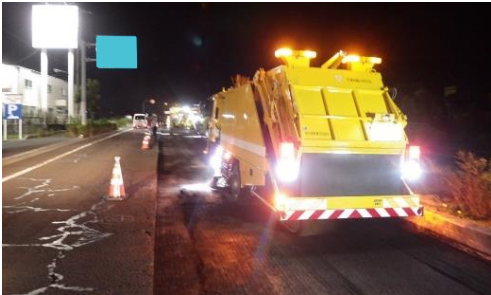
【施工フロー】



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。



路面切削機（ICT）による切削



路面清掃車による清掃



アスファルトフィニッシャによる敷均し



ロードローラ・タイヤローラによる締固め

【主な制定概要】

- ICT建設機械の路面切削機を使用した切削オーバーレイ工の歩掛を新規制定

3. 機種の選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
路面切削 (ICT)	路面切削機 (ICT)	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	台	1	
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数	
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m³	〃	1	
合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・舗装幅2.3～6.0m	〃	1	
合材締固め	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m	〃	1	
	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	〃	1	

4. 編成人員

土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
1	3	5

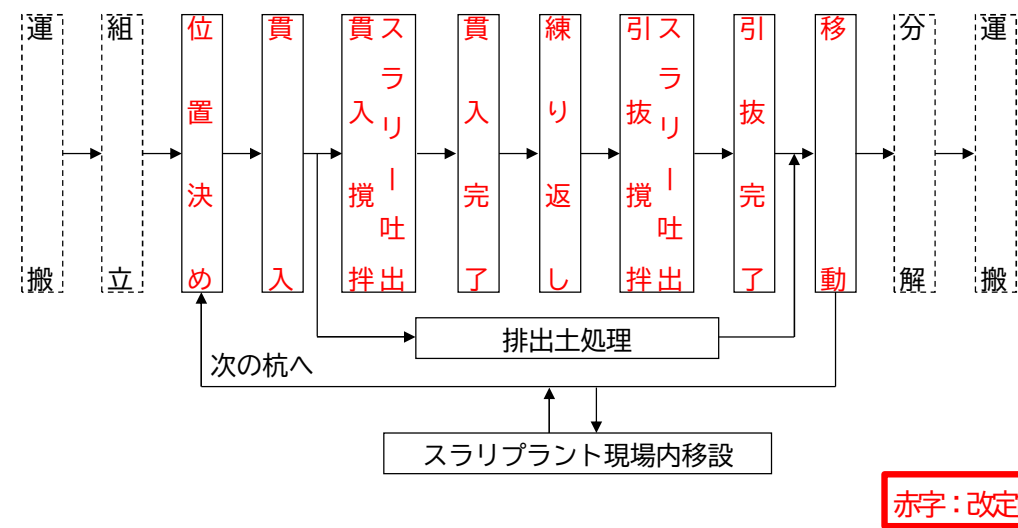
5. 施工歩掛

(㎡/日)

平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下
即日舗設	一層	910	794
	二層	—	624

地盤中にセメント系及び石灰系固化材をスラリー状（セメントミルクまたはモルタル）で圧送・注入し、攪拌翼で原地盤と攪拌・混合することにより均一な混合処理改良体（コラム）を造成する工法

【施工フロー】



【主な改定概要】

- 二軸施工（変位低減型）の杭径1600mm・打設長10m以下における施工機械の規格見直し
- 施工形態の変動に伴う日当たり編成人員の見直し
- 諸雑費に含む機械の追加及び排出ガス対策区分、保有区分の変動に伴う諸雑費率の見直し

3. 機種の選定

機 械 名	規 格	単 位	二軸施工（変位低減型） 杭径1,600mm			摘 要
			打設長(L) 3mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 26m以下	打設長(L) 26mを超え 36m以下	
深層混合処理機 (スラリー式)	二軸式 90kW×2 最大施工深度20m	台	1	—	—	
	二軸式 90kW×2 最大施工深度26m	//	—	1	—	
	二軸式 90kW×2 最大施工深度36m	//	—	—	1	
スラリープラント (全自動)	能力40m³/h	基	1	1	1	

(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。
2. スラリープラントには、スクリュコンベヤ、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリープラント制御盤を含む。

4. 編成人員

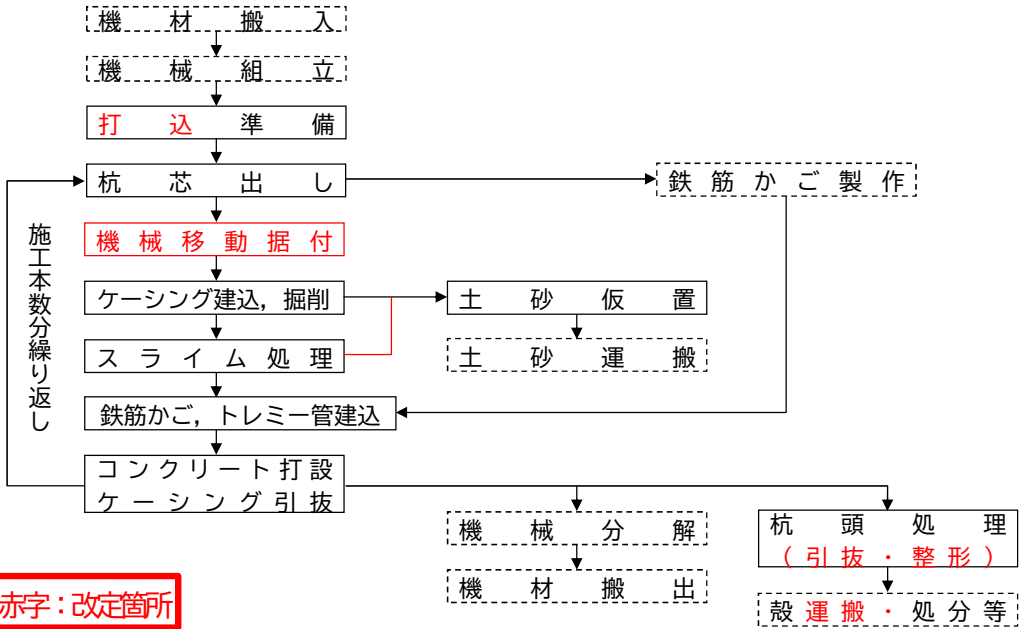
工 法	土木一般世話役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員
単軸施工	1	1	1
二軸施工	1	2	1
二軸施工 (変位低減型)	1	2	1

(注) 編成人員には、スラリープラントの管理運転労務を含む。



ケーシングチューブを建込み、ケーシングチューブを押込みながらハンマグラブによって土砂及び岩砕の搬出を行う。支持層に達したことを確認した後、孔内清掃（スライム処理）、鉄筋建込を行い、さらにトレミー管によりコンクリートを打設しながらケーシングチューブを引抜くことによって杭を施工する工法

【施工フロー】



掘削状況



コンクリート打設状況



杭頭処理状況

【主な改定概要】

- ・ 施工機械の適用範囲及び規格の改定
- ・ 諸雑費率の改定及びビット等損耗費率の設定
- ・ 杭頭処理の日当たり施工量の変動に伴い、施工歩掛を見直し

3. 機種の設定

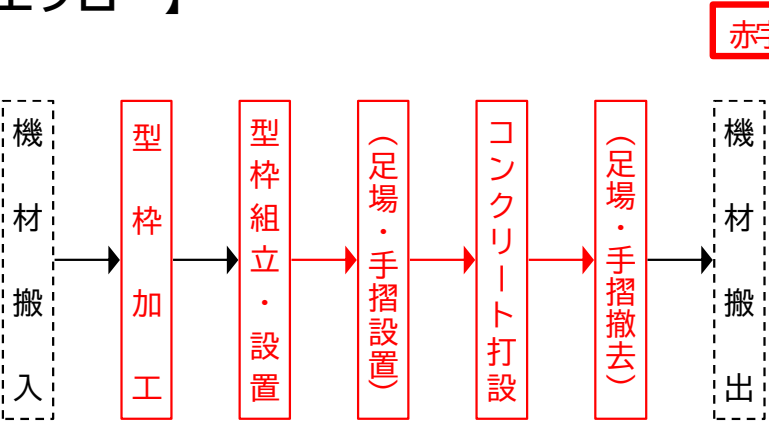
機械名	規格	単位	設計杭径					摘要
			1,000mm, 1,100mm, 1,200mm		1,500mm		2,000mm	
			掘削長40m以下	掘削長40m超え60m以下	掘削長20m以下	掘削長20m超え50m以下	掘削長50m以下	
全回転式オールケーシング掘削機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm	台	1	—	1	—	—	
	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm	〃	—	1	—	1	1	
クローラークレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用 排出ガス対策型(2014年規制) 70~90t吊	〃	1	—	1	—	—	
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用 排出ガス対策型(2014年規制) 100t吊	〃	—	1	—	1	1	
バックホウ(クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m³(平積0.4m³)	〃	1					

5-3 杭頭処理

名称	規格	単位	設計杭径				
			1,000mm	1,100mm	1,200mm	1,500mm	2,000mm
土木一般世話役		人	0.10	0.11	0.12	0.15	0.20
特殊作業員		〃	0.34	0.38	0.41	0.51	0.69
ラフレンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)50t吊	日	0.10	0.11	0.12	0.15	0.20
諸雑費率		%	6				

砂防工事(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)において、薄肉プレキャスト・セメントコンクリート製の型枠製品と組立部材及び支持材を使用し、コンクリート打設後の脱型作業を必要としない型枠工

【施工フロー】



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。



型枠加工



型枠組立・設置

【主な改定概要】

- 型枠重量の適用範囲の拡大
- 適用範囲の拡大による施工歩掛及び日施工量の見直し
- 使用機械（ラフテレーンクレーン25t吊）の排出ガス対策型区分の見直し

4. 施工歩掛

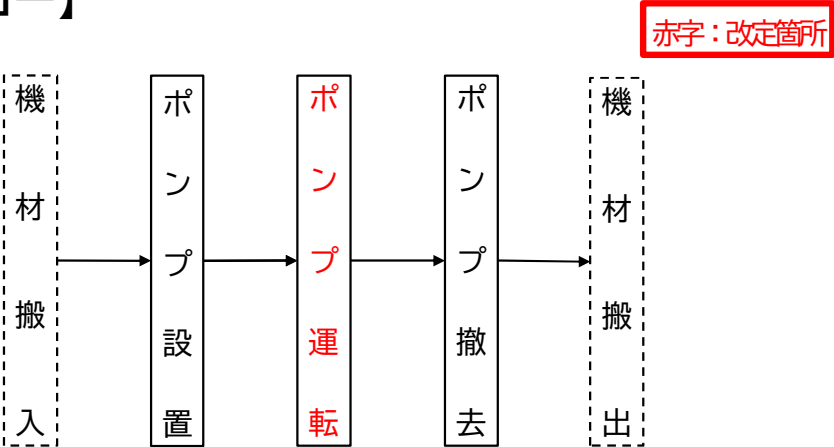
4-1 残存型枠及び残存化粧型枠の施工歩掛

残存型枠及び残存化粧型枠の加工，組立・設置における施工歩掛は，次表を標準とする。

名 称	単位	型枠材1枚当たりの質量及び面積	
		残存型枠	残存化粧型枠
		85kg／枚以下 0.8m2／枚以下	135kg／枚以下 0.8m2／枚以下
土 木 一 般 世 話 役	人	1.6	2.1
型 枠 組 立 工	〃	5.0	5.1
普 通 作 業 員	〃	3.2	3.5
溶 接 工	〃	2.7	2.7
ラフテレーンクレーン運転	日	1.7	1.9
諸 雑 費 率	%	19	18

構造物構築のために鋼矢板等を用いて水中締切、地中締切を行った場合、締切現場内の水を掘削底面より一段深い所に設けた場所に集水しポンプで排水する工法

【施工フロー】



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。



ポンプ設置状況



ポンプ運転状況

【主な改定概要】

- 排水量区分の適用範囲を1300m3/h未満から、1800m3/h未満に拡大
- 排水量区分見直しに伴う排水ポンプ、発電機の規格拡大

3-1 機種を選定

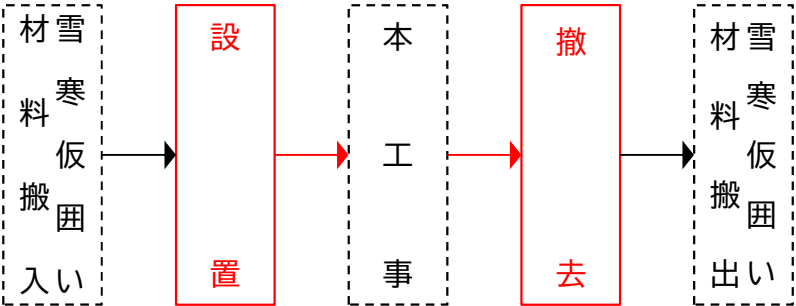
機成名	規格	単位	数量 排水量 (m3/h)					摘要
			0以上 120未満	120以上 450未満	450以上 1,200未満	1,200以上 1,600未満	1,600以上 1,800未満	
工事中水中モータポンプ全揚程10m	普通型 (潜水ポンプ) 口径 150mm	台	—	1	—	1	—	
	普通型 (潜水ポンプ) 口径 200mm	//	1	2	5	—	—	
	普通型 (潜水ポンプ) 口径 250mm	//	—	—	—	4	5	
工事中水中モータポンプ全揚程15m	普通型 (潜水ポンプ) 口径 150mm	//	—	1	—	—	—	
	普通型 (潜水ポンプ) 口径 200mm	//	1	2	—	—	—	
発電機全揚程10m	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第3次基準値)	定格容量 45kVA	//	1	—	—	—	
		定格容量 75kVA	//	—	1	—	—	
		定格容量 125kVA	//	—	—	1	—	
		定格容量 200kVA	//	—	—	—	1	
		定格容量 250kVA	//	—	—	—	—	1
発電機全揚程15m	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第3次基準値)	定格容量 60kVA	//	1	—	—	—	
		定格容量 125kVA	//	—	1	—	—	

3-3 設置・撤去歩掛

名称	規格	単位	数量
土木一般世話役		人	0.5
特殊作業員		//	0.1
普通作業員		//	2.0
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	日	0.5

冬期における土木構造物の施工を行う為に、本工事前にパイプサポート、枠組足場等を使用した「雪寒仮囲い」を設置、撤去する工法

【施工フロー】



赤字：改定箇所

【主な改定概要】

- 仮設材設置、撤去における労務費の計上方法の見直し
- 養生費における適用範囲の設定
- 除雪作業における適用区分の見直し

4. 設置・撤去歩掛

4-1 Pタイプの設置・撤去歩掛

名 称	単位	数量
土 木 一 般 世 話 役	人	1.2
普 通 作 業 員	//	5.0
バックホウ（クローラ型）運転	日	0.6

4-2 Wタイプ・PWタイプの設置・撤去歩掛

名 称	単位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)
土 木 一 般 世 話 役	人	2.2	1.2
と び 工	//	10.1	4.5
普 通 作 業 員	//	7.5	2.8
ラフテレーンクレーン運転	日	0.2	0.2

5. 養生工

5-1 特殊養生（仮囲い内ジェットヒータ養生）

（1）機種及び施工歩掛

仮囲いでのジェットヒータによる養生歩掛は、次表を標準とする（表 省略）。
（注）1. 上表は、雪寒仮囲いの体積2,000空m3以下で、養生のために、外気温から最大5℃まで仮囲い内の温度を上昇させる場合を想定した歩掛である。
現場条件等により上表により難い場合は、別途考慮する。



設置状況（Wタイプ）

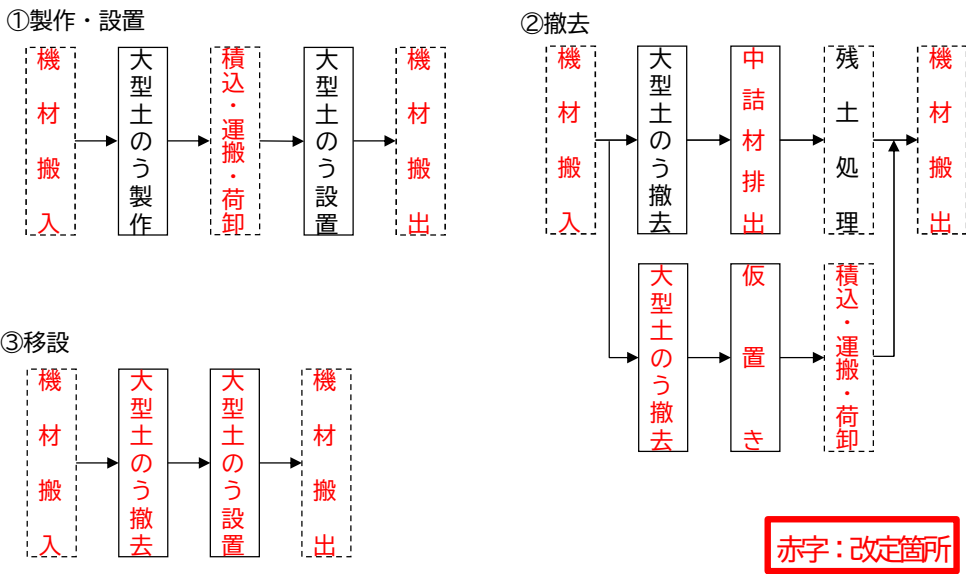


養生工（囲い内の状況）

※Pタイプはパイプサポート、Wタイプ＝枠組足場、PWタイプは枠組足場とパイプサポート材を主とした構造

大型土のう袋に土砂を詰め、河川の仮締切、軟弱法面の保護、工事用道路等における仮設材として施工される工法

【施工フロー】



大型土のう製作



クレーンによる移設作業

【主な改定概要】

- 大型土のうの製作に使用するバックホウの規格、排出ガス対策型の見直し
- 使用機械の変動及び工場製作品の製作枠使用に伴う日当たり施工量、諸雑費率の見直し
- 既設大型土のうの移設作業を新たに制定

3. 機種を選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
製作・設置	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	台	1	
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値) 25t吊	〃	1	
製作	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	〃	1	
設置(再設置含む) 撤去(再利用) 移設(撤去・再設置)	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	〃	1	
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値) 25t吊	〃	1	

4-1 編成人員

作業種別	土木一般 世話役	特殊 作業員	普通 作業員
製作・設置	1	1	1
製作	1	1	1
設置(再設置含む)	1	1	1
撤去	1	1	—
撤去(再利用)	1	1	—
移設(撤去・再設置)	1	1	1

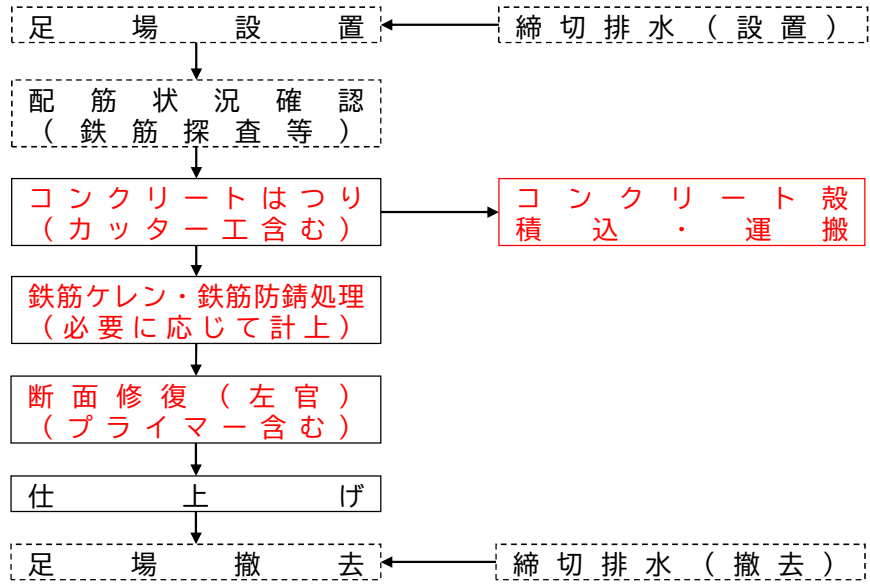
4-2 日当たり施工量

作業種別	単位	施工量
製作・設置	袋	34(49)
製作	〃	69
設置(再設置含む)	〃	77(66)
撤去	〃	115(106)
撤去(再利用)	〃	147(136)
移設(撤去・再設置)	〃	69(62)

(注) ラフテレーンクレーンを使用する場合は、
() 内を使用する。

コンクリート構造物の劣化により欠落した部分の修復や、中性化、塩化物イオンなどの劣化因子を含むかぶりコンクリートを除去した後の断面復旧を目的とした工法

【施工フロー】



赤字：改定箇所

【主な改定概要】

- ・ Co殻積込み・運搬歩掛の新規制定
- ・ 移動時間等の施工実態を反映した労務歩掛の見直し
- ・ 諸雑費対象の使用器具、雑材料の対象品目の見直し

1-4-1 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

名称	単位	数量 (1構造物当たり)
土木一般世話役	人	2.8
特殊作業員	//	5.3
普通作業員	//	2.8

1-4-3 コンクリート殻積込 (断面修復工)

(1) 日当たり編成人員

名称	単位	数量
普通作業員	人	1

(2) 日当たり施工量

作業種別	単位	数量
人力積込み	m³	7.7

1-4-4 コンクリート殻運搬 (断面修復工)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル4t積級							
	DIDD区間：無し							
運搬距離 (km)	1.0以下	2.0以下	3.0以下	4.5以下	6.0以下	7.5以下	9.5以下	11.5以下
運搬日数 (日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06
運搬距離 (km)	14以下	16.5以下	19以下	22以下	25以下	29以下	33以下	37.5以下
運搬日数 (日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44
運搬距離 (km)	42.5以下	48以下	54以下	60以下				
運搬日数 (日)	3.90	4.40	4.95	5.50				



コンクリートはつり
施工状況



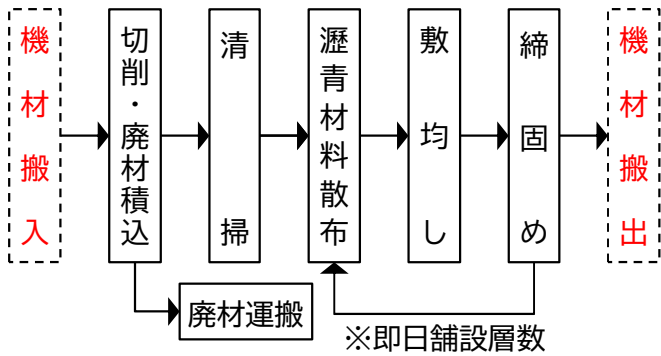
断面修復 (左官)
施工状況



コンクリート殻 積込
施工状況

路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から舗装までを即日で急速施工する工法

【施工フロー】



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。



路面切削機による切削



路面清掃車による清掃



アスファルトフィニッシャによる敷均し



ロードローラ・タイヤローラによる締固め

【主な改定概要】

- ・ 使用機械の規格、排出ガス対策型、騒音対策型の見直し
- ・ 移動時間等の施工実態を反映した日当たり施工量の見直し

3. 機種の選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
路面切削	路面切削機	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(第3次基準値)切削幅2.0m×深さ23cm	台	1	
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数	
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式路面切削工事用・ホッパ容量1.5m³	〃	1	
合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	ホイール型排出ガス対策型(2014年規制)・舗装幅2.3～6.0m	〃	1	
合材締固め	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)運転質量10t 締固め幅2.1m	〃	1	
	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)運転質量13～14t	〃	1	

5. 施工歩掛

(m³/日)

平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下
即日舗設	一層	732	640
	二層	—	503

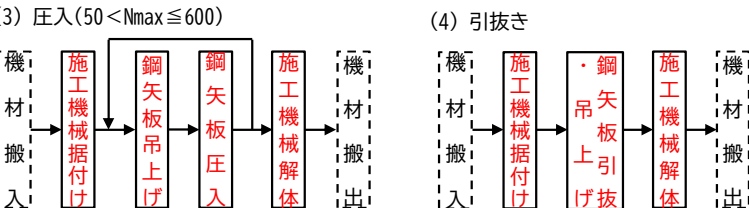
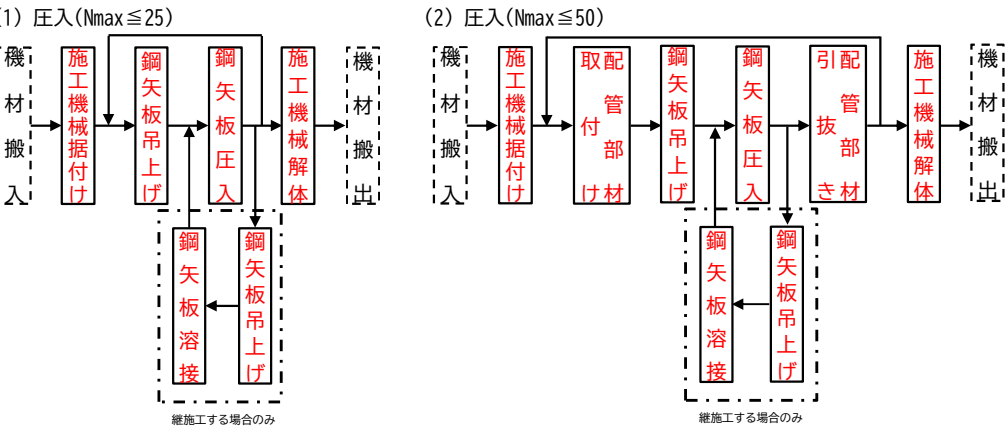
6. 諸雑費

(%)

平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下
即日舗設	一層	16 (設置のみ19, 設置撤去20)	15 (設置のみ18, 設置撤去19)
	二層	—	14

土留めや締切を目的として鋼矢板を施工（圧入、引抜き）する工法の一つ。圧入には、対象地盤の固さ（最大N値）により単独圧入、ウォータジェット併用施工、硬質地盤用工法といった施工方法がある

【施工フロー】



※施工機械足場用の敷鉄板の施工を含む。
(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。

赤字：改定箇所



単独圧入状況



継施工溶接状況

【主な制定概要】

- 適用範囲の拡大、鋼矢板45H型及び50H型を新規設定
- 使用機械の排出ガス対策型の見直し
- 移動時間等の施工実態を反映した日当たり施工量の見直し

1. 適用範囲

鋼矢板の型式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	V _L , VI _L 型	Ⅱw型	Ⅲw, Ⅳw型	10H型	25H型	45H, 50H型 25H型
圧入長	Nmax ≤ 25	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	12以下	25以下	25以下
	Nmax ≤ 50	12以下	18以下	20以下	25以下	14以下	25以下	14以下	25以下	25以下
	50 < Nmax ≤ 180	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	12以下	25以下	—
	180 < Nmax ≤ 600	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	—	—	—
引抜き長		12以下	18以下	20以下	25以下	—				

3-3 日当たり施工枚数
圧入、引抜き（継施工無し）

1) 圧入 (Nmax ≤ 25) (枚/日)

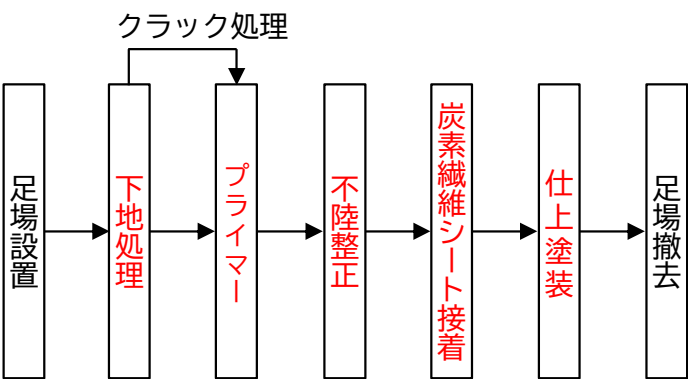
鋼矢板型式 \ 圧入長	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型	34	27	21	18	15	12	—
V _L ・VI _L 型	30	23	18	15	13	11	9.4
Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	30	23	18	15	12	10	9.2
10H・25H・45H・50H型	27	21	16	13	11	9.0	8.0

4) 圧入 (100 < Nmax ≤ 180)

鋼矢板型式 \ 圧入長	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型	11	7.5	5.6	4.4	3.6	2.9	—
V _L ・VI _L 型	9.4	6.6	4.9	3.9	3.1	2.5	2.2
Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	9.4	6.6	4.9	3.9	3.1	2.5	2.2
10H・25H型	8.1	5.7	4.2	3.3	2.6	2.2	1.9

床版補強工は、鉄筋量不足の補強や床版耐荷力を向上させることで、既設橋梁のR C床版の補強をおこなう工法

【施工フロー】



- (注) 1. 本歩掛は、吊足場上での作業を標準とする。
2. クラック処理は、必要な場合に計上する。
3. プライマーと不陸整正を兼用する場合は適用外とする。

赤字：改定箇所



炭素繊維シート貼付



仕上塗装

【主な改定概要】

- 鋼板接着工法、増桁架設工法および炭素繊維接着工法（全面貼り）歩掛廃止
- 移動時間等の施工実態を反映した施工歩掛の見直し

3. 炭素繊維接着工法

3-2 下地処理工 (100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人	2.3	
特 殊 作 業 員		〃	9.2	
諸 雑 費 率		%	2	

3-3 プライマー工 (100㎡当たり)

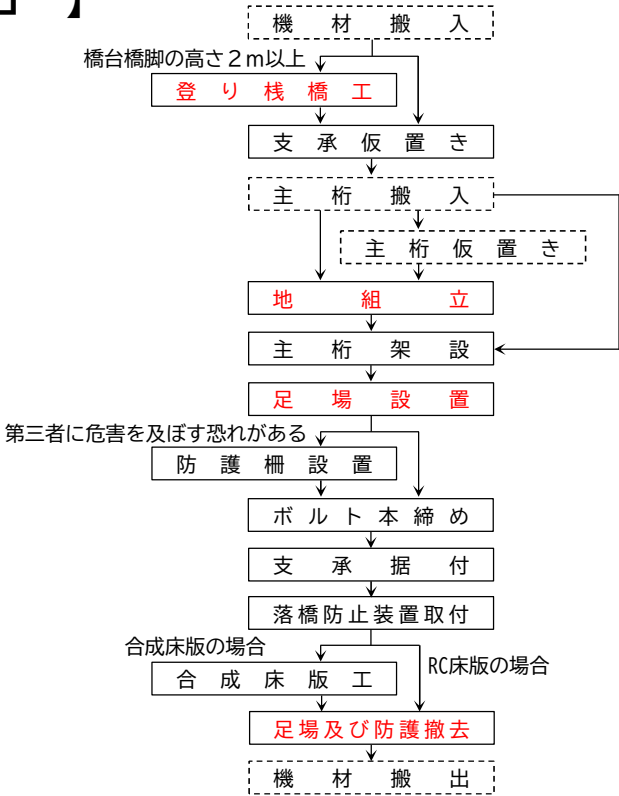
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
			格子貼り	
土 木 一 般 世 話 役		人	1.3	
特 殊 作 業 員		〃	5.2	
プ ラ イ マ ー		kg	29	
諸 雑 費 率		%	2	

3-5 炭素繊維シート接着工 (100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
			格子貼り	
土 木 一 般 世 話 役		人	3.5	
特 殊 作 業 員		〃	10.4	
普 通 作 業 員		〃	6.9	
炭 素 繊 維 シ ー ト		㎡	必要量計上	必要量＝設計量×（1＋ロス率）
エポキシ樹脂含浸材		kg	〃	表3.6
諸 雑 費 率		%	2	
特 許 料 金		式	1	必要に応じて計上

工場製作された鋼製の桁部材を移動式クレーン又はケーブルクレーン等で架設する工法

【施工フロー】



赤字：改定箇所



地組工



主桁架設



バント設備設置

【主な改定概要】

- クレーンの移動時間を考慮した日当たり施工量の見直し
- 架設用機械設備及び工具の供用日数等の見直し
- 足場工、防護工の歩掛係数の見直し

5. 地組工

桁形式	日当たり施工量 D_g (t/日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)
鈑桁 ラーメン (鈑桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.029(G+87)}$	橋りょう世話役 1 橋りょう特殊工 5	3 (注) 4
箱桁 ラーメン (箱桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.020(G+87)}$	橋りょう世話役 1 橋りょう特殊工 6	
少数 I 桁 (鈑桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.026(G+87)}$	橋りょう世話役 1 橋りょう特殊工 5	
細幅箱桁 (箱桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.020(G+87)}$	橋りょう世話役 1	

G：地組質量 (t)

11-3. バント設備設置・撤去

機械名・規格	日当たり施工量 D_t (t/日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 25t吊	$D_t = \frac{T}{0.14T + 1.7}$	橋りょう世話役 1 橋りょう特殊工 5	1 (0.7)
ケーブルクレーン	$D_t = \frac{T}{0.22T + 1.4}$	橋りょう世話役 1 橋りょう特殊工 6 普通作業員 1	5 (0.5)

T：バント総質量 (t)

14. 足場工、防護工及び登り栈橋工

主体足場工費 = $(L_1 + L_2 T_1 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)

表14.1 主体足場各係数

桁形式	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場			
	L_1	L_2	N_1	N_2	L_1	L_2	N_1	N_2
プレートガーダ ボックスガーダ	201	108	0.033	0.023	269	87	0.051	0.032
ラーメン	261	151	0.043	0.027	—	—	—	—
トラス、アーチ	403	263	0.063	0.038	944	599	0.081	0.047
少数 I 桁	131	117	0.032	0.023	—	—	—	—

- 施工パッケージ型積算基準は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における機械経費、労務費、材料費を含む単位施工量当たり「単価」を工種区分毎に設定したものです。
- 「施工合理化調査等の実態調査」の結果を踏まえ、施工パッケージ型積算基準及び標準単価表の改定を行いました。

（１）使用機械、労務等の変動により改定を行う工種 【４工種】

- ①発泡スチロールを用いた超軽量盛土工、
- ②護岸基礎ブロック据付工、③舗装版クラック補修工、
- ④消波根固めブロック工



発泡スチロールを用いた
超軽量盛土工



消波根固めブロック工

（２）移動時間を考慮した工種 【６工種】

- ①排水構造物工（暗渠排水管）、 ②塵芥処理工、
- ③路盤工、④路盤工（ICT）、⑤透水性アスファルト舗装工、
- ⑥沓座拡幅工



路盤工（ICT）



排水構造物工（暗渠排水管）

「施工パッケージ型積算方式標準単価表（参考資料）」の公表

施工パッケージ型積算方式の理解向上に資するため、施工パッケージ標準単価の代表機材規格のうち、**代表機械規格及び代表労務規格の参考数量（積算単位当たりの労務の人工数や機械の運転日数等）**を「施工パッケージ型積算方式標準単価表（参考資料）」として、**国土技術政策総合研究所HPに掲載**（令和7年3月末公表）。

（https://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm）